

専門課程シラバス

授業科目	治療論Ⅲ(臨床薬理学・臨床検査)			担当者	川崎美紀・中村光宏・椿安志		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義	単位数	1	時間数	30
授業概要	薬理学の基礎知識と薬物療法について学び、薬物療法を受ける患者の安全対策を学ぶ。医療活動の各段階において判断する指標となる各種臨床検査の種類と原理を知る。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 薬とはどのようなものか・薬理作用・薬効に影響を及ぼす因子</li> <li>2 薬理作用・薬効に影響を及ぼす因子</li> <li>3 薬の有害作用・薬の適応・処方の実際</li> <li>4 感染症治療の基礎・抗生物質各論・合成化学療法薬</li> <li>5 抗ガン薬・免疫治療薬</li> <li>6 アレルギー及び炎症に対する薬物</li> <li>7 末梢での神経活動に作用する薬物</li> <li>8 中枢神経系に作用する薬物(1)</li> <li>9 心臓・血管系に作用する薬物(1)</li> <li>10 その他、薬物</li> <li>11 呼吸器・消化器・生殖器に作用する薬物</li> <li>12 臨床検査-種類と特性、基準値と基準範囲、検査値の読み方、検体の種類</li> <li>13 臨床検査-一般検査、血液学検査、生化学検査、微生物検査</li> <li>14 臨床検査-機能検査、画像検査</li> <li>15 筆記試験・まとめ</li> </ol>						
テキスト 参考文献	系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進(3) 薬理学 医学書院						
成績評価 の方法	毎回の講義終了時に行う小テストの結果(1点×14回:14点)は、最終の評価テスト(86点)に加 点し 総合評価点する。(小テストは6割以上の正解で1点を得点)						